

令和 4 年 9 月 14 日現在

機関番号：10101

研究種目：基盤研究(A)（一般）

研究期間：2016～2019

課題番号：16H02001

研究課題名（和文）リージョナル・コモنزの研究 地域秩序形成の東アジア＝ヨーロッパ比較

研究課題名（英文）A Study on Regional Commons --- Comparing regional order formations in East Asia and Europe

研究代表者

遠藤 乾（Endo, Ken）

北海道大学・公共政策学連携研究部・教授

研究者番号：00281775

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 26,530,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では、東アジアと欧州の地域秩序形成を比較検討した。歴史・現状・理論の三面から「地域コモنز」の形成に向け、学問的なアウトプットと広く社会への提言を目指した。

コロナ禍で最終局面の研究が停滞したが、メンバーによる図書、論考、発表などの無数の具体的な研究成果が生まれた。とりわけ、地域コモنز形成上の基盤とも障害ともなる主権についての編著、ナショナリズムについての図書、そして和解に関する論考を公刊することができた。地域コモنزの形成には、安全保障、機能的協力、市民和解の複合ポリティクス円滑な運営が必要となる。その理論・政策的な基礎を積み上げることができたと考えている。

研究成果の学術的意義や社会的意義

ウクライナ侵攻後の欧州でも米中対立の最前線である東アジアでも、地域秩序形成は難しい。しかし、それなくば平和も繁栄も手にできない。そこで、「地域コモنز」と鍵概念として、その形成・摩耗を比較検討した。国家主権やナショナリズム、歴史和解は、地域形成の基盤／障害であるが、そのあり方を歴史・理論的に考察し、無数の公刊物につなげた。概して、安全保障枠組、帰納的協力の、歴史和解をセットで進めるときに、理想的な形で地域コモنز形成に向かうことができる。本研究は、その三つの複合ポリティクスを読み解き、その円滑な運営を現実のものとするための理論・政策的な前提となる学問的な基礎作業を積み上げることができた。

研究成果の概要（英文）： This research project compared regional order, or 'commons' formation in East Asia and Europe, from historical, theoretical and current-policy viewpoints, aiming at academic outputs as well as wider social proposals.

While the COVID-19 crisis slowed our research at the final stage, we have produced numerous books, articles and oral presentations. Notably, the team members published an edited book on state sovereignty, a book and articles on nationalism, and several articles about historical reconciliations, all of which could be the basis and obstacles for regional commons formation. In order to smoothly construct it, one would need to manage the complex politics involving security, functional cooperation, and civic reconciliations. This research project could be seen building up the theoretical and policy foundations for the comprehensive regional order formation.

研究分野：国際政治

キーワード：地域秩序 東アジア ヨーロッパ 比較 安全保障 経済統合 歴史認識 コモنز

1. 研究開始当初の背景

本課題「リージョナル・コモンズの研究—地域秩序形成の東アジア＝ヨーロッパ比較—」は、東アジアと欧州の地域秩序形成の道筋を包括的に比較再検討するものである。その主たる背景には、東アジア地域の緊張がしだいに亢進し、日中、日韓、日朝、そして米中と平和や安全、そして繁栄が今後も守られていくのか、雲行きが怪しくなったことがあげられる。そのなかで、安全保障の在り方、経済統合や機能協力の進め方、そして歴史認識の問題を包括的に扱う必要があると判断した。それに対して、研究代表者自身が行き詰るべきと考えた背景には、近年取り組んできたグローバル・コモンズ、日本の安全保障、東アジア市民対話、シティズンシップ、EU規制力、ヨーロッパ統合史の研究・実践を総合するもので、目標とすべきモデルのない、可逆的な「地域」形成のダイナミズムを等身大で解明した上で、将来のあり方を問うことが可能で、望ましいと考えたことがあげられる。

2. 研究の目的

本研究課題の目的は、地域的なコモンズの構築に向けて、検討すべき課題を提示することにあつた。具体的には、安全保障構造、機能的協力の束、市民和解の進展・停滞・逆行の複合ポリティクスに焦点を当て、4年をかけて歴史・現状・理論の三面からヨーロッパと東アジアの両地域の性格を洗い直し、地域大のコモンズの形成に向け、学問的なアウトプットと広く社会への提言を目指した。これは、「地域」秩序の可能性と脆弱性の双方を視野に入れ、モデルのなき可逆的な「地域」形成のダイナミズムを等身大で解明し、将来を構想することを意味した。

3. 研究の方法

方法的には、以下の三方向からアプローチすることで、課題を追究した。

(1) (国際) 政治学的理論考察：

地域コモンズ形成のメカニズムを理論的に探究すること。その際、ヨーロッパと東アジアにおける安全保障・機能的協力・市民和解の複合的ポリティクスに着目し、そのうえで、基盤とも障害ともなりうる国家主権、ナショナリズム、そして歴史理解の総合を試みるということである。

(2) 現状分析：

ヨーロッパ・東アジアの2地域の地域秩序の現状について、機能協力や経済的統合の進展にも拘わらず残存し、時に激化する国家間紛争に焦点を当てて、コモンズの伸縮を比較検討すること。

(3) 歴史的検討：

一次史料に基づき、第二次世界大戦後にヨーロッパおよび東アジアの地域秩序が構築されていくさまを、一方向的でなく可逆性を伴うコモンズ形成・停滞・後退プロセスとして、跡づけること。とくに、和解プロセスはその推進・後退双方にかかわる要因として重視すること。

なお、研究課題遂行上、チーム編成にも工夫を凝らした。コモンズ概念を枕詞に、安全保障・機能的協力・市民和解の複合的ポリティクスに着目する理論班の統括の下、地域別に東アジア班と欧州班を設け、それぞれに歴史と現状に重点をおくグループを設けた。ただしその垣根はできるだけ低くし、柔軟なチーム編成を心がけ、優秀な若手を積極的に登用することで革新的な知の生産／再生産を意識した。また、社会との協働を常に意識し、成果へたどり着くプロセスにその協働を組み込んでゆくことを狙った。さらに、国際的な交流と世界水準のアウトプット作りに努めた。最後に、コロナ禍でなかなかうまくいかなかったところもあったが、初年度の基盤作りから途上のワークショップ組織、研究期間中の出版に至るまで、研究の計画的な執行を心がける一方、2年目終了時にレビューを組み込んだ。

4. 研究成果

以下の3点にまたがり、多くの成果を世に問うことができた。なお、研究メンバーは学界の中でも非常に生産的な部類に属し、これ以外にも無数に公刊物があるが、以下では、ごく一部の代表的な例を示すに過ぎないことを申し添える。より詳細な成果については、各年度の実績報告書を参照されたい。

(1) 理論的検討

日本政治学会編 (編集代表：遠藤乾) 『主権はいま』、筑摩書房、2019年

川島真、21世紀政策研究所『現代中国を読み解く三要素 経済・テクノロジー・国際関係』勁草書房、2020年

日本国際政治学会編 (編集代表：鈴木一人) 『国際政治 (特集：エコノミック・ステイトクラフト)』205号、2022年

鈴木一人「日本はリベラル国際秩序の担い手になりえるのか」『国際政治』196号、2019年

川島真「中国の見る世界秩序と地域秩序」東大社研現代中国研究拠点編『現代中国ゼミナール』東京大学出版会、2020年

Takumi Itabashi, 'In Quest of "Full and Unconditional Sovereignty"' Seikei Hougaku, No. 95, 2022.

(2) 現状分析

川島真・森聡（編）『UP plus アフターコロナ時代の米中関係と世界秩序』東大出版、2020年
池本大輔、板橋拓己、川嶋周一、佐藤俊輔『EU 政治論—国境を越えた統治のゆくえ』有斐閣、2020年

上原良子「フランスのインド太平洋戦略とユーラシア」『国際情勢』91号、2021年

John Nilsson-Wright ed. with Ken Endo & Yuichi Hosoya as contributors. The UK and Japan: Forging a Global and Proactive Partnership. Chatham House, 2019.

Yuichi Hosoya, FOIP 2.0: The Evolution of Japan's Free and Open Indo-Pacific Strategy, Asia Pacific Review, 26, 2019.

Shin Kawashima, 'China's Foreign Policy Objectives and Views on the International Order: Thoughts Based on Xi Jinping's Speech at the 19th National Congress,' Japan Review, Vol. 3, 2021

(3) 歴史的考察

川島真、遠藤貢、高原明生、松田康博『中国の外交戦略と世界秩序』昭和堂、2019年

田中明彦・川島真編『20世紀の東アジア史 I~III』東京大学出版会、2020年

川島真、岩谷將編『日中戦争研究の現在』東大出版、2022年

川島真、細谷雄一編『サンフランシスコ講和と東アジア』東大出版、2022年

妹尾哲志『冷戦変容期の独米関係と西ドイツ外交』晃洋書房、2022年

菅英輝編著、妹尾哲志分担『競合する歴史認識と歴史和解』晃洋書房、2020年

板橋拓己、妹尾哲志編『歴史のなかのドイツ外交』吉田書店、2019年

細谷雄一編『軍事と政治 日本の選択 歴史と世界の視座から』文藝春秋、2019年

渡邊啓貴・上原良子編『フランスと世界』法律文化社、2019年

川島真『『和解』の観点から見た戦後日中・日台歴史問題 1945-2008』『国際社会科学』70号、2021年

岩谷將「蒋介石のなかの日本（上・中・下）」『海外事情』、2021年

川嶋周一「戦後西ドイツの欧州経済統合観とオールド自由主義—ローマ条約交渉における政府内議論を手掛りに1953-1956」鈴木利大編『EUにおける経済通貨同盟の問題点と政策的統合の必要性』文眞堂、2022年

板橋拓己「ドイツ統一交渉と冷戦後欧州安全保障秩序の端緒」『国際政治』200号、2020年

Takumi Itabashi, 'Moeglichkeiten der sicherheitspolitischen Zusammenarbeit zwischen der EU und Japan im Rahmen der Gemeinsamen Sicherheits- und Verteidigungspolitik (GSVP),' Historische Mitteilungen, 31, 2020.

これらに加えて、在伊欧州大学院大学、仏国際関係研究所、台湾国立政治大学などとの体系的な連携を試み、国際学術交流の開拓・維持を心がけた。なかでも、この協働から、欧州大学院大学にて、研究代表者も共同プロジェクト・リーダーとなり、Asia Project が創設されたことは、研究機関終了後も学術交流が制度化され継続することを意味し、特筆に値すると考える。

さらに、研究課題に関連し、欧州における地域秩序形成に関して、アーカイブ研究に基づいて、以下の史料データベース「ヨーロッパ統合史サポートサイト」を整備した。これを一層発展させていく必要があると考えている。

History of Eutopean Integration-史料館案内 (hokudai.ac.jp)

https://lex.juris.hokudai.ac.jp/history_of_european_integration/archives.html

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計91件（うち査読付論文 18件 / うち国際共著 2件 / うちオープンアクセス 13件）

1. 著者名 遠藤乾	4. 巻 2016年7月9日号
2. 論文標題 英国が「EUを離脱しない」は本当なのか	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 東洋経済オンライン	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 遠藤乾	4. 巻 2016年7月16日号
2. 論文標題 英国EU離脱で「欧州と世界」はどう変わるのか	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 東洋経済オンライン	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 遠藤乾	4. 巻 926号
2. 論文標題 EUはどこに向かうのか 欧州複合危機のゆくえ（六月夕食会講演）	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 學士會会報	6. 最初と最後の頁 2 11
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 遠藤乾・大芝亮・中山俊宏・宮城大蔵・古城佳子	4. 巻 No. 668
2. 論文標題 座談会 揺らぐ国際秩序は揺らいでいるのか	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 国際問題	6. 最初と最後の頁 1 17
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 ENDO, Ken	4. 巻 -
2. 論文標題 Japan in 2018	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 GOLDSTEIN, Andrea & CULVEREDS, Julia (eds.), The World in 2018 (Nomisma)	6. 最初と最後の頁 72 74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 遠藤乾	4. 巻 -
2. 論文標題 安全保障	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 社会思想史学会【編】『社会思想史事典』(丸善出版)	6. 最初と最後の頁 756 757
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 遠藤乾	4. 巻 -
2. 論文標題 EU	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 小学館ジャパンナレッジ	6. 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 遠藤乾	4. 巻 -
2. 論文標題 2019年欧州議会選リポート : 2019年欧州議会選挙 結果の概観と意味の考察	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本国際問題研究所	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 遠藤乾	4. 巻 -
2. 論文標題 序章 ポスト複合危機の欧州と日本	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『混迷する欧州と国際秩序』（平成29年度～令和元年度）、最終成果報告書、日本国際問題研究所	6. 最初と最後の頁 5-12
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 遠藤乾・宮井健志	4. 巻 -
2. 論文標題 終章 日欧は世界でどうふるまうべきか	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『混迷する欧州と国際秩序』（平成29年度～令和元年度）、最終成果報告書、日本国際問題研究所	6. 最初と最後の頁 121-127
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 遠藤乾	4. 巻 2020年4月号
2. 論文標題 再定義される欧州 2020年代のEU像	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 外交	6. 最初と最後の頁 112-119
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ken Endo	4. 巻 -
2. 論文標題 Chap. 14 A Distant Partner: The Japanese perspectives of a post-Brexit European Union	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Changing Perceptions of the EU at Times of Brexit: Global Perspectives	6. 最初と最後の頁 ch. 11
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 遠藤乾	4. 巻 695号
2. 論文標題 ヨーロッパの対応 コロナ復興基金の誕生	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国際問題 「感染症と国際社会」特集	6. 最初と最後の頁 97-109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 遠藤乾	4. 巻 -
2. 論文標題 EU・イギリスから見る米中関係	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 川島真・森聡『UP plus アフターコロナ時代の米中関係と世界秩序』東京大学出版会	6. 最初と最後の頁 132-143
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川島真	4. 巻 -
2. 論文標題 中国の対東南アジア・ASEAN外交 胡錦濤・習近平政権期を中心に	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 大庭三枝【編著】『東アジアのかたち 秩序形成と統合をめぐる 日米中ASEANの交差』（千倉書房）	6. 最初と最後の頁 155 186
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 KAWASHIMA, Shin	4. 巻 -
2. 論文標題 “Deimperialization” in Early Postwar Japan: Adjusting and Transforming the Institutions of Empire	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 KUSHNER, Barak & MUMINOV, Sherzod eds., The Dismantling of Japan's Empire in East Asia: Deimperialization, Postwar Legitimation and Imperial Afterlife (Routledge)	6. 最初と最後の頁 30 47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川島真	4. 巻 21号
2. 論文標題 中国における甲午戦争百二十年史研究	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東アジア近代史	6. 最初と最後の頁 56 70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川島真	4. 巻 -
2. 論文標題 東亜国際政治史 圍繞中国的国際政治史与中国外交史	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本国際政治学会【編】劉星【訳】『日本国際政治学 第四巻 歴史中的国際政治』(北京大学出版社)	6. 最初と最後の頁 66-85
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 KAWASHIMA, Shin	4. 巻 Vol. 24, Issue 2
2. 論文標題 Toward China's "Hub and Spokes" in Southeast Asia? --- Diplomacy during the Hu Jintao and First Xi Jinping Administrations	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Asia-Pacific Review	6. 最初と最後の頁 64-90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13439006.2017.1415565	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 川島真	4. 巻 22号
2. 論文標題 中国の第一次世界大戦参戦 対ドイツ抗議・断交を中心に	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東アジア近代史	6. 最初と最後の頁 29 48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川島真	4. 巻 -
2. 論文標題 日華断交之前日本対台湾海峡の立場和論述 第二次台湾海峡危機時期為主	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 江柏(火章)【主編】『馬祖 戦争与和平島嶼國際學術研討會論文集』(連江県政府出版)	6. 最初と最後の頁 285 296
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川島真	4. 巻 -
2. 論文標題 「蒋介石日記」から見た1937年ソ連外交文書	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 河原地英武・平野達志【訳】家近亮子・川島真・岩谷将【監】『日中戦争と中ソ関係: 1937年ソ連外交文書邦訳・解題・解説』(東京大学出版会)	6. 最初と最後の頁 301 321
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川島真	4. 巻 -
2. 論文標題 一九五〇年代半ばの中国留日学生と日本国費留学制度再開	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 孫安石・大里浩秋【編著】『中国人留學生と「国家」・「愛国」・「近代」』(東方書店)	6. 最初と最後の頁 285-312
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shin Kawashima	4. 巻 Vol.26
2. 論文標題 Xi Jinping 's Diplomatic Philosophy and Vision for International Order: Continuity and Change from the Hu Jintao Era	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Asia Pacific Review	6. 最初と最後の頁 121-145
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川島真	4. 巻 -
2. 論文標題 現代中国政治の『強靱性（レジリエンス）』 胡錦濤・習近平政権への視座	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本比較政治学会編『民主主義の脆弱性と権威主義の強靱性』、日本比較政治学会年報第22号、ミネルヴァ書房	6. 最初と最後の頁 123-142
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shin Kawashima	4. 巻 Vol.27
2. 論文標題 The Four Principles that Formed the Basis of Friendly Relations between Japan and China: The China Policy of the Nakasone Yasuhiro Government	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Asia Pacific Review	6. 最初と最後の頁 80-101
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shin Kawashima	4. 巻 -
2. 論文標題 Chapter 5, China's Maritime Strategy and the Japan-US Alliance	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The Japan-US Alliance of Hope: Asia-Pacific Maritime Security	6. 最初と最後の頁 105-120
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Shin Kawashima	4. 巻 Vol.11
2. 論文標題 The Propagation of Japanese Buddhism in China, 1910-40s: Japan as the Guardian of East Asian "Traditions"	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of China Studies	6. 最初と最後の頁 213-230
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 川島真	4. 巻 70輯
2. 論文標題 『和解』の観点から見た戦後日中・日台歴史問題 1945-2008	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 国際社会科学	6. 最初と最後の頁 1-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shin Kawashima	4. 巻 Vol. 28-2
2. 論文標題 Historical Policy of the Xi Jinping Administration: Four Histories and “Ma Project”	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Asia Pacific Review	6. 最初と最後の頁 57-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩谷将	4. 巻 -
2. 論文標題 日中戦争における和平工作 中国側から見た	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 筒井清忠【編】『昭和史講義2 専門研究者が見る戦争への道』（筑摩書房）	6. 最初と最後の頁 165 182
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩谷将	4. 巻 -
2. 論文標題 1937年後半における中国の対日方針とソ連	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 河原地英武・平野達志【訳】家近亮子・川島真・岩谷将【監】『日中戦争と中ソ関係：1937年ソ連外交文書邦訳・解題・解説』（東京大学出版会）	6. 最初と最後の頁 295 300
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩谷将	4. 巻 -
2. 論文標題 従盧溝橋到上海—再論中日戦争初期的展	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 黄自進編主編『邁向和解之路』稻郷出版社 上冊	6. 最初と最後の頁 229-268
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩谷将	4. 巻 68巻6号
2. 論文標題 蒋介石のなかの日本(上)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 海外事情	6. 最初と最後の頁 151-163
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩谷将	4. 巻 69巻1号
2. 論文標題 蒋介石のなかの日本(中)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 海外事情	6. 最初と最後の頁 153-166
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩谷将	4. 巻 69巻2号
2. 論文標題 蒋介石のなかの日本(下)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 海外事情	6. 最初と最後の頁 153-166
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩谷将	4. 巻 71巻5号
2. 論文標題 盧溝橋事件における現地交渉() - 1937年7月7日~7月28日	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 北大法学論集	6. 最初と最後の頁 45-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩谷将	4. 巻 71巻6号
2. 論文標題 盧溝橋事件における現地交渉(・完) - 1937年7月7日~7月28日	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 北大法学論集	6. 最初と最後の頁 143-190
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川嶋周一	4. 巻 Report No.16-17
2. 論文標題 ユーラトムの成立とヨーロッパ核秩序 1955-1958 統合・自立・拡散	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 GRIPS Discussion Papers	6. 最初と最後の頁 1 23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川嶋周一	4. 巻 Vol.46
2. 論文標題 M&M (マクロン・メルケル)時代の欧州: 独仏主導のEUを展望する	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 外交	6. 最初と最後の頁 78 83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川嶋周一	4. 巻 -
2. 論文標題 ドイツ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 渡邊啓貴、上原良子（編）『フランスと世界』法律文化社	6. 最初と最後の頁 69-80
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川嶋周一	4. 巻 -
2. 論文標題 「第一章 ヨーロッパとは何か」、「第五章 EUの諸機構」、「第12章 デモクラシーと正統性」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 池本大輔、川嶋周一、板橋拓己、佐藤俊輔『EU政治』有斐閣	6. 最初と最後の頁 107-128
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川嶋周一	4. 巻 -
2. 論文標題 戦後西ドイツの欧州経済統合観とオールド自由主義 ローマ条約交渉における政府内議論を手掛りに1953 - 1956	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 鈴木利大編『EUにおける経済通貨同盟の問題点と政策的統合の必要性』文真堂	6. 最初と最後の頁 14-53
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 林成蔚	4. 巻 -
2. 論文標題 [台湾] ナショナリズム政党と保守 台湾政党システムの試論	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 阪野智一・近藤正基【編著】『刷新する保守 保守政党の国際比較』（弘文堂）	6. 最初と最後の頁 91 140
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 妹尾哲志	4. 巻 -
2. 論文標題 戦後復興と国際協調	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 田野大輔・柳原伸洋【編著】『教養のドイツ現代史』（ミネルヴァ 書房）	6. 最初と最後の頁 203 207
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 妹尾哲志	4. 巻 -
2. 論文標題 米ソ冷戦とベルリン封鎖	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 田野大輔・柳原伸洋【編著】『教養のドイツ現代史』（ミネルヴァ 書房）	6. 最初と最後の頁 207 211
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 妹尾哲志	4. 巻 -
2. 論文標題 福祉国家ドイツ	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 田野大輔・柳原伸洋【編著】『教養のドイツ現代史』（ミネルヴァ 書房）	6. 最初と最後の頁 215 221
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 妹尾哲志	4. 巻 -
2. 論文標題 ブランドの時代	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 田野大輔・柳原伸洋【編著】『教養のドイツ現代史』（ミネルヴァ 書房）	6. 最初と最後の頁 229 233
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 妹尾哲志	4. 巻 -
2. 論文標題 プラントの東方政策 「接近による変化」と緊張緩和の促進	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 森井裕一【編著】『ドイツの歴史を知るための50章』（明石書店）	6. 最初と最後の頁 280 285
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 妹尾哲志	4. 巻 -
2. 論文標題 高橋進 「外交と内政の相互連関」から「外交空間」論へ	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 初瀬龍平・戸田真紀子・松田哲・市川ひろみ【編】『国際関係論の生成と展開 日本の先達との対話』（ナカニシヤ出版）	6. 最初と最後の頁 137 147
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 妹尾哲志	4. 巻 -
2. 論文標題 西ドイツの東方政策と「パックス・アメリカーナ」への応戦 パールのヨーロッパ安全保障構想を中心に	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 葛谷彩・小川浩之・西村邦行【編著】『歴史のなかの国際秩序観 「アメリカの社会科学」を超えて』（晃洋書房）	6. 最初と最後の頁 115 132
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 妹尾哲志	4. 巻 57号
2. 論文標題 国際法・国際政治における対話の困難と可能性	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 専修大学法学研究所所報	6. 最初と最後の頁 98 107
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 妹尾哲志	4. 巻 196号
2. 論文標題 在欧米軍削減問題と西ドイツ外交 - 1960年代末から70年代初頭のオフセット協定と負担分担問題に着目して	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国際政治	6. 最初と最後の頁 33-48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 三好範英・板橋拓己	4. 巻 633号
2. 論文標題 「もう一つの選択肢」で揺らくドイツ	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 公研	6. 最初と最後の頁 32 49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 板橋拓己	4. 巻 -
2. 論文標題 ヴァイマル共和国 「即興デモクラシー」のゆくえ	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 森井裕一【編著】『ドイツの歴史を知るための50章』（明石書店）	6. 最初と最後の頁 209 214
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 板橋拓己	4. 巻 -
2. 論文標題 分割占領下のドイツ 「零時」から分断へ	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 森井裕一【編著】『ドイツの歴史を知るための50章』（明石書店）	6. 最初と最後の頁 238 243
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 板橋拓己	4. 巻 -
2. 論文標題 基本法の制定と西ドイツの成立 「ボンはヴァイマルではない」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 森井裕一【編著】『ドイツの歴史を知るための50章』（明石書店）	6. 最初と最後の頁 244 249
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 板橋拓己	4. 巻 3号
2. 論文標題 新しい「ドイツ問題」 ドイツとヨーロッパ統合の関係を歴史的に振り返る	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 学際（統計研究会）	6. 最初と最後の頁 28 39
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 板橋拓己	4. 巻 -
2. 論文標題 時代が生んだ奇書	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 シュベングラー『西洋の没落I』（中央公論新社）	6. 最初と最後の頁 7 19
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 板橋拓己	4. 巻 -
2. 論文標題 ドイツの国際関係論（IB）の挑戦	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 葛谷彩・小川浩之・西村邦行【編】『歴史のなかの国際秩序観 「アメリカの社会科学」を超えて』（晃洋書房）	6. 最初と最後の頁 37 55
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 板橋拓己	4. 巻 88号
2. 論文標題 「西側結合」の揺らぎ 現代ドイツ外交の苦悩	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 アステイオン	6. 最初と最後の頁 97 111
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 板橋拓己	4. 巻 88号
2. 論文標題 NATO「二重決定」の成立と西ドイツ シュミット外交研究序説	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 成蹊法学	6. 最初と最後の頁 341 368
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 板橋拓己	4. 巻 -
2. 論文標題 変貌するドイツ政治	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 成蹊大学法学部【編】『教養としての政治学入門』(筑摩書房)	6. 最初と最後の頁 307 333
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 板橋拓己	4. 巻 -
2. 論文標題 ナチズム、戦争、アメリカ 初代欧州委員会委員長ハルシュタインの思想形成過程	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 網谷龍介・上原良子・中田瑞穂【編】『戦後民主主義の青写真 ヨーロッパにおける統合とデモクラシー』(ナカニシヤ出版)	6. 最初と最後の頁 59 85
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ITABASHI Takumi	4. 巻 70
2. 論文標題 Toward “ full and unconditional sovereignty ” :	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Annals of Japanese Political Science Association	6. 最初と最後の頁 159 180
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7218/nenpouseijigaku.70.1_159	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 板橋 拓己	4. 巻 2020
2. 論文標題 ドイツ統一交渉と冷戦後欧州安全保障秩序の端緒	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国際政治	6. 最初と最後の頁 67 83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11375/kokusaiseiji.200_67	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 板橋拓己	4. 巻 -
2. 論文標題 モッセ史学の軌跡	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ジョージ・L・モッセ『大衆の国民化 ナチズムに至る政治シンボルと大衆文化』佐藤卓己、佐藤八寿子 訳、ちくま学芸文庫	6. 最初と最後の頁 389-409
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takumi Itabashi	4. 巻 第95号
2. 論文標題 In Quest of “ Full and Unconditional Sovereignty ” : Hans-Dietrich Genscher and the Issue of a Unified Germany ’ s Full Membership in NATO	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 成蹊法学	6. 最初と最後の頁 159-184
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鈴木一人	4. 巻 40号
2. 論文標題 新しい安全保障と技術管理	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 外交	6. 最初と最後の頁 74 79
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木一人	4. 巻 658号
2. 論文標題 安全保障の空間的変容	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 国際問題	6. 最初と最後の頁 4 13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木一人	4. 巻 -
2. 論文標題 An Asian Space Partnership with Japan?	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 RAJAGOPALAN, Rajeswari Pillai & PRASAD, Narayan eds., Space India 2.0: Commerce, Policy, Security and Governance Perspectives (Observer Research Foundation)	6. 最初と最後の頁 275 282
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki Kazuto	4. 巻 Vol.24, Issue 2
2. 論文標題 Twenty-Five Years of Japanese Peacekeeping Operations and the Self-Defense Forces' Mission in South Sudan	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Asia-Pacific Review	6. 最初と最後の頁 44 63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13439006.2017.1407534	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鈴木一人	4. 巻 24巻3号
2. 論文標題 機微技術の輸出管理を巡る諸問題	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 月刊 治安フォーラム	6. 最初と最後の頁 39 46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 SUZUKI, Kazuto	4. 巻 -
2. 論文標題 A Japanese Perspective on Space Deterrence and the Role of the U.S.-Japan Alliance and Deterrence in Outer Space	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 HAROLD, S. W., NAKAGAWA, Y., FUKUDA, J., DAVIS, J. A., KONO, K., CHENG, D. & SUZUKI, Kazuto, The U.S.-Japan Alliance and Deterring Gray Zone Coercion in the Maritime, Cyber, and Space Domains (RAND)	6. 最初と最後の頁 91 104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鈴木一人	4. 巻 -
2. 論文標題 国連イラン制裁における金融制裁について	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 吉村祥子【編】『国連の金融制裁：法と実務』（東信堂）	6. 最初と最後の頁 214 235
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木一人	4. 巻 -
2. 論文標題 脱領域的コモンズに社会的コモンズは構築できるか	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 待鳥聡史・宇野重規【編】『社会の中のコモンズ：公共性を超えて』（白水社）	6. 最初と最後の頁 189 216
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木一人	4. 巻 第205号
2. 論文標題 検証 エコノミック・ステイトクラフト	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 国際政治	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木一人	4. 巻 第688号
2. 論文標題 ベルシャ湾の安全保障とその展望	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国際問題	6. 最初と最後の頁 44-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木一人	4. 巻 2019-1号
2. 論文標題 主権と資本：グローバル市場で国家はどこまで自律性を維持できるのか	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 年報政治学	6. 最初と最後の頁 56-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木一人	4. 巻 第196号
2. 論文標題 日本はリベラル国際秩序の担い手になりえるのか	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国際政治	6. 最初と最後の頁 116-132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 OBA, Mie	4. 巻
2. 論文標題 Japan's Contribution to Fostering Multilateralism in Asia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ECHLE, Christian, RUEPPEL, Patrick, SARMAH, Megha & HWEE, Yeo Lay (eds.), Multilateralism in a Changing World Order (Konrad-Adenauer-Stiftung)	6. 最初と最後の頁 71 81
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大庭三枝	4. 巻 52巻4号
2. 論文標題 新たな地域経済秩序の構築と日本の地域戦略	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 タイ国情報	6. 最初と最後の頁 1 14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大庭三枝	4. 巻 46巻3号
2. 論文標題 日本の「インド太平洋」構想	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国際安全保障	6. 最初と最後の頁 12 32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 細谷雄一	4. 巻 92巻1号
2. 論文標題 国連創設とイギリス外交 「国際連合」と「西欧連合」の狭間で	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 法学研究	6. 最初と最後の頁 47 72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yuichi Hosoya	4. 巻 Vol.26 No.1
2. 論文標題 FOIP 2.0: The Evolution of Japan's Free and Open Indo-Pacific Strategy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Asia-Pacific Review	6. 最初と最後の頁 18-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yuichi Hosoya	4. 巻 -
2. 論文標題 Defending the Liberal International Order: The UK-Japan Partnership in an Uncertain World	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The UK and Japan: Forging a Global and Proactive Partnership: Chatham House Report	6. 最初と最後の頁 73-83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 細谷雄一	4. 巻 第690号
2. 論文標題 リベラルな国際秩序とイギリス外交	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国際問題	6. 最初と最後の頁 5-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上原良子	4. 巻 No.96
2. 論文標題 マルセル・ダッソー：ミラージュ戦闘機の生みの親	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 アステイオン	6. 最初と最後の頁 148-160
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上原良子	4. 巻 No.92
2. 論文標題 潜水艦危機後のフランスのインド太平洋戦略	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 国際情勢 紀要	6. 最初と最後の頁 167-172
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上原良子	4. 巻 No.91
2. 論文標題 フランスのインド太平洋戦略とユーラシア	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 国際情勢 紀要	6. 最初と最後の頁 69-82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上原良子	4. 巻 -
2. 論文標題 フランスとヨーロッパ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 渡邊啓貴・上原良子編『フランスと世界』法律文化社	6. 最初と最後の頁 81-92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計119件（うち招待講演 59件 / うち国際学会 47件）

1. 発表者名 遠藤 乾
2. 発表標題 ポスト複合危機の欧州～Brexitとその後～
3. 学会等名 経済同友会、工業倶楽部（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 遠藤乾
2. 発表標題 コロナ時代の国際政治～グローバル化の大分岐なのか～
3. 学会等名 第324回国際政経懇話会、公益財団法人日本国際フォーラム/グローバル・フォーラム(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 遠藤乾
2. 発表標題 コロナ危機後の欧州と世界
3. 学会等名 アジア調査会講演会(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 遠藤乾
2. 発表標題 ポスト・コロナの世界～日台協力の可能性～
3. 学会等名 國立臺灣大學日本研究所(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ken Endo
2. 発表標題 The Conditions for Regional Cooperation in Northeast Asia
3. 学会等名 2020 KNDA Northeast Asia Peace and Cooperation Forum(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 遠藤乾
2. 発表標題 コロナ危機後の欧州
3. 学会等名 関西経済連合会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ken Endo
2. 発表標題 US-China systemic rivalry: repercussions for the EU and Japan
3. 学会等名 IAI workshop on the EU-Japan security relations（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ken Endo
2. 発表標題 Japan in the age of fraying international order
3. 学会等名 PSU-CJS, Portland/UCD Japan, Dublin, Online（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 遠藤乾
2. 発表標題 EUの外交力 戦略的自律性とヘゲモニーの観点から
3. 学会等名 富士通フューチャースタディーズセンター（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ken Endo
2. 発表標題 Quad, AUKUS & CPTPP --- A Japanese perspective on the recent regional re-alignment
3. 学会等名 The Korean embassy in Rome workshop (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ken Endo
2. 発表標題 Panelist: FRS-SWP Track 1.5 Dialogue with Regional Partners on the EU's Strategy for Cooperation in the Indo-Pacific
3. 学会等名 Panelist: FRS-SWP Track 1.5 Dialogue with Regional Partners on the EU's Strategy for Cooperation in the Indo-Pacific, Webinar
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Shin Kawashima
2. 発表標題 Re-thinking "Washington System" and historical dynamism in East Asia
3. 学会等名 Comparing "the Versailles-Washington System" and "San Francisco System", JIIA-Stanford Symposium: "The Past, Present, and Future International Order in East Asia" (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 從日本外交档案来看的1980年代之中日首腦外交
3. 学会等名 新時代中日關係國際學術研討会 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 東アジア談論と平和 脱近代・国家、そして人間
3. 学会等名 韓日政経社会学会 2019年度第3回国際学術大会（（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shin Kawashima
2. 発表標題 Interpreting Chinese perception of the international norm in the 21st century, and Us-China relations
3. 学会等名 [Session One]Strategic Competition between the US and China: Impacts on Korea and Japan and Responses to Them, The 10th Seoul-Tokyo Forum: “Korea-Japan Relations in the Age of US-China Rivalry”（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 「和解」の観点から見た戦後日中・日台関係史 日韓関係との比較の視座
3. 学会等名 第四回歴史和解のための韓日フォーラム、主催：東北アジア歴史財団（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Shin Kawashima
2. 発表標題 History problem and trial to reconciliation between Japan and China
3. 学会等名 Session 3: Historical consciousness and problematic relations with neighboring countries Joint Japanese-Polish History Symposium（（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Shin Kawashima
2. 発表標題 日中關係の現状与課題
3. 学会等名 International and Regional Situation and China-Japan Relations in the Post-epidemic Era-International and Regional Situation-China-Japan Relations (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Shin Kawashima
2. 発表標題 How Strong is the Taiwan-US-Japan Triangle?
3. 学会等名 Ifri Center for Asian Studies Fall Webinar 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 探索“新時代”的中日關係：課題与展望
3. 学会等名 復旦大学日本研究中心第31届国際學術研討会 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 細谷雄一
2. 発表標題 米中關係と日本の經濟安全保障 (パネル・ディスカッション)
3. 学会等名 国際安全保障学会2021年度年次大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 妹尾哲志
2. 発表標題 紛争地域における「記憶」と「安全保障化」のメカニズム - 「東地中海地域」を事例にドイツの視点から
3. 学会等名 地域紛争研究会2019年度第4回例会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 板橋拓己
2. 発表標題 2021年ドイツ総選挙とシオルツ新政権の課題
3. 学会等名 丸の内政経懇話会（三菱経済研究所）（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 板橋拓己
2. 発表標題 シオルツ新首相の下でのドイツ政治の行方
3. 学会等名 BNPパリバ 欧州政治セミナー（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 板橋拓己
2. 発表標題 ドイツの対中政策 ポスト・メルケル時代へ向けて
3. 学会等名 国際情勢研究会（富士通フューチャースタディーズ・センター）（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 板橋拓己
2. 発表標題 ドイツ統一をめぐる国際政治 その歴史化とアクチュアリティ
3. 学会等名 ドイツ現代史研究会・シンポジウム「ドイツ統一30年」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 板橋拓己
2. 発表標題 東西ドイツ統一をめぐる国際政治 史料の公開状況と研究動向の紹介を中心に
3. 学会等名 第69回日本西洋史学会大会 現代史部会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 上原良子
2. 発表標題 ペリフェリーからの問い：地域アイデンティティの覚醒とヨーロッパ空間の変容
3. 学会等名 「1970年代ヨーロッパにおける民主主義の『リベラル』化：個人化・権利化・司法化」科学研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 上原良子
2. 発表標題 フランスのアジアシフト
3. 学会等名 欧米研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 上原良子
2. 発表標題 2019年フランス：インド太平洋戦略とスタートアップ立国の模索
3. 学会等名 欧米研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ENDO, Ken
2. 発表標題 The European Union 's Complex Crisis in the 2010s
3. 学会等名 Seminar at Graduate Institute of International Politics, National Chung Hsing University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ENDO, Ken
2. 発表標題 The Free and Open Indo-Pegion and Europe
3. 学会等名 Munich Securiry Conference 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 遠藤乾
2. 発表標題 ポスト複合危機の欧州
3. 学会等名 日本国際問題研究所「混迷する欧州と国際秩序」研究会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 新時代の日中関係 新たな主要矛盾と生態文明
3. 学会等名 記念中日和平友好条約締結40周年中日関係研究会日程（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 KAWASHIMA, Shin
2. 発表標題 China at Present and BRI
3. 学会等名 The 2nd Asia-Pacific Geo-Economic Strategy Forum（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 中国の対外政策と秩序形成
3. 学会等名 第9回 東京ソウルフォーラム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 KAWASHIMA, Shin
2. 発表標題 Chinese View on Trade Issue and North Korea Problem
3. 学会等名 Carnegie Endowment Events: Trade Battles, North Korea, and U.S.-Japan China Policy（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 KAWASHIMA, Shin
2. 発表標題 China's Nation Building and Critical Junctures of Modern Sino-Japanese Relations
3. 学会等名 20世紀アジアの歴史国際共同研究シンポジウム（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 日中「歴史和解」過程から見る日韓関係
3. 学会等名 第2回 歴史和解のための韓日フォーラム（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大庭三枝
2. 発表標題 地域主義・アジアの観点を中心に
3. 学会等名 日本国際政治学会 2018年度大会 共通論題「現代日本外交の30年」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岩谷將
2. 発表標題 中日作戦初期日本の謀和工作
3. 学会等名 中国社会科学院近代史研究所学術講座（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 川嶋周一
2. 発表標題 第1セッション「マクロン時代の〈政治〉 何が新しく、何が古いのか」日本側パネリスト
3. 学会等名 シンポジウム「マクロン時代の第五共和制 フランス政治社会の60年」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 妹尾哲志
2. 発表標題 東西緊張緩和とNATO 西ドイツの視点から
3. 学会等名 国際安全保障学会 2018年度年次大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 板橋拓己
2. 発表標題 ヴァルター・ハルシュタインの戦後秩序構想
3. 学会等名 日本国際政治学会 2018年度研究大会 部会2「キリスト教民主主義と欧州政治 歴史的な考察を踏まえての再検討」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 板橋拓己
2. 発表標題 難民危機とポピュリズム ドイツ政治の変貌
3. 学会等名 松山大学法学部創立30周年記念シンポジウム「ポピュリズム化の時代にどう向き合うか。」(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 鈴木一人
2. 発表標題 グローバル・ガバナンスの観点を中心に リベラル国際秩序の担い手になり得たか
3. 学会等名 日本国際政治学会 2018年度研究大会 共通論題「現代日本外交の30年」(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 遠藤乾
2. 発表標題 EUの危機の本質及び今後の展望
3. 学会等名 国立国会図書館調査・立法考査局「EU研究会」(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 ENDO, Ken
2. 発表標題 Whither the EU-US-Asia Triangle? The Politics of Norm in the Age of Developed Countries' Risk
3. 学会等名 Robert Schuman Centre for Advanced Studies Seminar (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 遠藤乾
2. 発表標題 共通論題「民主シーと世界秩序」(パネル・ディスカッション)パネリスト
3. 学会等名 日本国際政治学会 2017年研究大会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 遠藤乾
2. 発表標題 先進国リスク時代の国際協調
3. 学会等名 日本国際問題研究所「混迷する欧州と日本外交」研究会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 冷戦期中華民国の対外政策と宣伝 尖閣諸島 / 釣魚台列嶼問題の形成過程における
3. 学会等名 2017年度アジア政経学会秋季大会 自由応募分科会1「冷戦期東アジアの広報外交と国内政治」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 KAWASHIMA, Shin
2. 発表標題 The Formation Senkaku/Diaoyu Disputes and the Media's Standpoints to Baodiao Movement: a case study on propaganda of the KMT government
3. 学会等名 Workshop on Cold War and Knowledge in East Asia (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 川嶋周一
2. 発表標題 NPT条約成立交渉におけるユーラトムの位置付けについて
3. 学会等名 日本政治学会 2017年度総会・研究大会 A-2: 核不拡散体制の再考 (企画委員会企画)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 ITABASHI, Takumi
2. 発表標題 GSVP und Japan: Moeglichkeit der Zusammenarbeit
3. 学会等名 Tagung der Ranke-Gesellschaft und des Zentrums fuer Militaergeschichte und Sozialwissenschaften der Bundeswehr (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 鈴木一人
2. 発表標題 安全保障貿易管理を通じた核不拡散の取り組みと国連による核拡散に対する制裁
3. 学会等名 日本原子力学会「2017年秋の大会」 核不拡散・保障措置・核セキュリティ連絡会セッション
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 KAWASHIMA, Shin
2. 発表標題 China at Present and East Asia
3. 学会等名 第7回東京-ソウル・フォーラム「私たちの未来に向けての課題克服」(国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 中国の外交と東アジア情勢
3. 学会等名 東京大学駒場祭公開講座
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 21世紀の中華 習近平政權と東アジア
3. 学会等名 2016年度立命館西園寺塾12月3日講義
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 川島真
2. 発表標題 台灣新政權與日台關係 經濟協力・安全保障協力・國民交流
3. 学会等名 2016年「日本政經發展與對外關係」國際研討會（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 LIN, Chenwei
2. 発表標題 Politics of Taxation and Familialistic Welfare Regime On Taiwan
3. 学会等名 Democratization, Taxation, and the Welfare State in the Developing World（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 妹尾哲志
2. 発表標題 1960年代末から70年代初頭の在欧米軍削減問題と西ドイツ外交 オフセット交渉と負担分担問題に着目して（分科会D-2「アメリカ政治外交」西ドイツ・パネリスト）
3. 学会等名 日本国際政治学会創設60周年記念研究大会（2016年度研究大会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 板橋拓己
2. 発表標題 「過去」と政治 戦後ドイツから何を学ぶか
3. 学会等名 ヨーロッパ文化総合研究所公開講演会（招待講演）
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計48件

1. 著者名 日本政治学会【編】遠藤乾【編集代表】	4. 発行年 2019年
2. 出版社 筑摩書房	5. 総ページ数 400
3. 書名 主権はいま	

1. 著者名 川島真・中村元哉	4. 発行年 2019年
2. 出版社 晃洋書房	5. 総ページ数 440
3. 書名 中華民国史研究の動向	

1. 著者名 川島真・佐橋亮・高口康太・森聡	4. 発行年 2019年
2. 出版社 中央公論新社	5. 総ページ数 36
3. 書名 米中砲弾なき全面戦争	

1. 著者名 川島真・遠藤貢・高原明生・松田康博	4. 発行年 2019年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 272
3. 書名 中国の外交戦略と世界秩序	

1. 著者名 川島真・21世紀政策研究所	4. 発行年 2020年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 248
3. 書名 現代中国を読み解く三要素 経済・テクノロジー・国際関係	

1. 著者名 田中明彦・川島真	4. 発行年 2020年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 292
3. 書名 20世紀の東アジア史 国際関係史概論	

1. 著者名 田中明彦・川島真	4. 発行年 2020年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 315
3. 書名 20世紀の東アジア史 各国史 [1] 東北アジア	

1. 著者名 田中明彦・川島真	4. 発行年 2020年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 389
3. 書名 20世紀の東アジア史 各国史 [2] 東南アジア	

1. 著者名 川島真・清水麗・松田康博・楊永明	4. 発行年 2020年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 340
3. 書名 日台関係史 1945-2020 増補版	

1. 著者名 川島真・森聡【編】鈴木一人	4. 発行年 2020年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 264
3. 書名 UP plus アフターコロナ時代の米中関係と世界秩序	

1. 著者名 戸部良一・赤木完爾・庄司潤一郎・川島真・波多野澄雄・兼原信克	4. 発行年 2021年
2. 出版社 新潮社	5. 総ページ数 304
3. 書名 決定版 大東亜戦争(下)	

1. 著者名 波多野澄雄・赤木完爾・川島真・戸部良一・松元崇	4. 発行年 2021年
2. 出版社 新潮社	5. 総ページ数 272
3. 書名 決定版 大東亜戦争(上)	

1. 著者名 川島真・岩谷將	4. 発行年 2022年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 360
3. 書名 日中戦争研究の現在	

1. 著者名 川島真・細谷雄一	4. 発行年 2022年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 336
3. 書名 サンフランシスコ講和と東アジア	

1. 著者名 Yuichi Hosoya【著】Taran Cannon【訳】	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Japan Publishing Industry Foundation for Culture	5. 総ページ数 208
3. 書名 Security Politics in Japan: Legislation for a New Security Environment	

1. 著者名 山内昌之・細谷雄一	4. 発行年 2019年
2. 出版社 中央公論新社	5. 総ページ数 310
3. 書名 日本近現代史講義	

1. 著者名 細谷雄一【編】	4. 発行年 2019年
2. 出版社 文藝春秋	5. 総ページ数 304
3. 書名 軍事と政治 日本の選択 歴史と世界の視座から	

1. 著者名 北岡伸一・細谷雄一	4. 発行年 2020年
2. 出版社 東洋経済新報社	5. 総ページ数 424
3. 書名 新しい地政学	

1. 著者名 藤井宏昭・細谷雄一・白鳥潤一郎・山本みずき	4. 発行年 2020年
2. 出版社 吉田書店	5. 総ページ数 360
3. 書名 国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ	

1. 著者名 Iokibe Kaoru・Komiya Kazuo・Hosoya Yuichi・Miyagi Taizo・the Tokyo Foundation for Policy Research Political and Diplomatic Review Project	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Lynne Rienner	5. 総ページ数 200
3. 書名 History, Memory & Politics in Postwar Japan	

1. 著者名 妹尾哲志	4. 発行年 2022年
2. 出版社 晃洋書房	5. 総ページ数 248
3. 書名 冷戦変容期の独米関係と西ドイツ外交	

1. 著者名 森聡・福田円・妹尾哲志・溝口修平・小野沢透・中島琢磨	4. 発行年 2022年
2. 出版社 慶應義塾大学出版会	5. 総ページ数 320
3. 書名 入門講義 戦後国際政治史	

1. 著者名 菅英輝【編著】妹尾哲志	4. 発行年 2020年
2. 出版社 晃洋書房	5. 総ページ数 336
3. 書名 競合する歴史認識と歴史和解	

1. 著者名 板橋拓己・妹尾哲志【編】	4. 発行年 2019年
2. 出版社 吉田書店	5. 総ページ数 350
3. 書名 歴史のなかのドイツ外交	

1. 著者名 池本大輔・板橋拓己・川嶋周一・佐藤俊輔	4. 発行年 2020年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 326
3. 書名 EU政治論 国境を越えた統治のゆくえ	

1. 著者名 白鳥潤一郎・高橋和夫【編】鈴木一人	4. 発行年 2022年
2. 出版社 放送大学教育振興会	5. 総ページ数 272
3. 書名 現代の国際政治	

1. 著者名 宮本 雄二・伊集院敦【編】鈴木一人・日本経済研究センター	4. 発行年 2021年
2. 出版社 日経BP 日本経済新聞出版本部	5. 総ページ数 312
3. 書名 米中分断の虚実：デカプリングとサプライチェーンの政治経済分析	

1. 著者名 Asia Pacific Initiative・Kazuto Suzuki	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ディスカヴァー・トゥエンティワン	5. 総ページ数 903
3. 書名 The Independent Investigation Commission on the Japanese Government's Response to COVID19: Report on Best Practices and Lessons Learned	

1. 著者名 中野隆生・加藤玄【編著】上原良子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 388
3. 書名 フランスの歴史を知るための50章	

1. 著者名 坂井一成・八十田博人【編】上原良子・川嶋周一・鈴木一人	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 240
3. 書名 よくわかるEU政治	

1. 著者名 平和・安全保障研究所【編】鈴木一人	4. 発行年 2020年
2. 出版社 朝雲新聞社	5. 総ページ数 272
3. 書名 アジアの安全保障2020-2021	

1. 著者名 河原地英武・平野達志【訳】家近亮子・川島真・岩谷将【監】	4. 発行年 2018年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 337 (1 337)
3. 書名 日中戦争と中ソ関係：1937年ソ連外交文書邦訳・解題・解説	

1. 著者名 波多野澄雄・戸部良一・松元崇・庄司潤一郎・川島真	4. 発行年 2018年
2. 出版社 新潮社	5. 総ページ数 288 (1 288)
3. 書名 決定版 日中戦争	

1. 著者名 細谷雄一	4. 発行年 2018年
2. 出版社 新潮社	5. 総ページ数 283 (1 283)
3. 書名 自主独立とは何か 前篇 敗戦から日本国憲法制定まで	

1. 著者名 細谷雄一	4. 発行年 2018年
2. 出版社 新潮社	5. 総ページ数 282 (1 282)
3. 書名 自主独立とは何か 後篇 冷戦開始から講和条約まで	

1. 著者名 小川浩之・板橋拓己・青野利彦	4. 発行年 2018年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 344 (1 344)
3. 書名 国際政治史 主権国家体系のあゆみ (有斐閣ストウディア)	

1. 著者名 平岩俊司・川島真・金基正・木村幹・加藤達也・松崎隆司・石丸次郎・山口昇・香田洋二・永岩俊道	4. 発行年 2017年
2. 出版社 中央公論新社	5. 総ページ数 56 (1 56)
3. 書名 中公DD 北朝鮮の暴走、韓国の迷走	

1. 著者名 和田春樹・後藤乾一・木畑洋一・山室信一・趙景達・中野聡・川島真	4. 発行年 2017年
2. 出版社 チェックア・ハムケ(本と一緒に)出版	5. 総ページ数 574 (1 574)
3. 書名 東アジア近現代通史 19世紀から現在まで(韓国語訳)	

1. 著者名 ヤン=ヴェルナー・ミュラー【著】板橋拓己【訳】	4. 発行年 2017年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 176 (1 176)
3. 書名 ポピュリズムとは何か トランプはなぜポピュリストと言えるのか?	

1. 著者名 山中仁美【著】佐々木雄太【監訳】佐々木雄太・吉留公太・山本健・三牧聖子・板橋拓己・浜由樹子【訳】	4. 発行年 2017年
2. 出版社 ナカニシヤ出版	5. 総ページ数 310 (1 310)
3. 書名 戦争と戦争のはざままで E・H・カーと世界大戦	

1. 著者名 遠藤乾	4. 発行年 2016年
2. 出版社 中央公論新社	5. 総ページ数 312 (1 312)
3. 書名 欧州複合危機 苦悶するEU、揺れる世界	

1. 著者名 薛化元・川島真・洪郁如【主編】	4. 発行年 2016年
2. 出版社 稻郷出版社	5. 総ページ数 496 (1 496)
3. 書名 跨域青年學者台灣與東亞近代史研究論集	

1. 著者名 川島真	4. 発行年 2016年
2. 出版社 中央公論新社	5. 総ページ数 344 (1 344)
3. 書名 21世紀の「中華」 習近平中国と東アジア	

1. 著者名 川島真	4. 発行年 2017年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 240 (1 240)
3. 書名 中国のフロンティア 揺れ動く境界から考える	

1. 著者名 福井憲彦・太田信宏・加藤玄・川島真・高野太輔・佐川英治・本村凌二・山本秀行・角田展子・西浜吉晴	4. 発行年 2017年
2. 出版社 東京書籍	5. 総ページ数 454 (1 454)
3. 書名 世界史B	

1. 著者名 KOKUBUN, Ryosei & SOEYA, Yoshihide & TAKAHARA, Akio & KASHIMA, Shin (Translated by KRULAK, Keith)	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 234 (1 234)
3. 書名 Japan-China Relations in the Modern Era	

1. 著者名 本村凌二【翻訳監修】尾形勇・川島真・後藤明・桜井由躬雄・福井憲彦・本村凌二・山本秀行・西浜吉晴【著】	4. 発行年 2017年
2. 出版社 講談社	5. 総ページ数 384 (1 384)
3. 書名 英語で読む 高校世界史 Japanese High School Textbook of the World History	

1. 著者名 板橋拓己	4. 発行年 2016年
2. 出版社 吉田書店	5. 総ページ数 261 (1 261)
3. 書名 黒いヨーロッパ ドイツにおけるキリスト教保守派の「西洋（アーベントラント）」主義、1925～1965年	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>History of European Integration 基盤研究(A) (研究代表者：遠藤乾) https://lex.juris.hokudai.ac.jp/history_of_european_integration/index.html Konrad Adenauer Stiftung https://www.kas.de/documents/252038/253252/7_dokument_dok_pdf_52878_1.pdf/16bc8d29-0b6f-4d29-665c-fc2aa7548ad4?version=1.0&t=1539647281554 専修大学学術機関リポジトリ (SI-Box) : 専修大学法学研究所所報 http://id.nii.ac.jp/1015/00012511/ 成蹊大学学術情報リポジトリ : 成蹊法学 http://hdl.handle.net/10928/1053 JIIA: Japan Review https://www.jiia-jic.jp/en/japanreview/pdf/JapanReview_Vo12_No1_03_Takumitabashi.pdf History of European Integration 基盤研究(A) (研究代表者：遠藤乾) http://lex.juris.hokudai.ac.jp/history_of_european_integration/index.html Nomisma: Pubblicazioni: The World in 2018 http://www.nomisma.it/images/PUBBLICAZIONI/The_World_in_2018-web.pdf 川島真研究室 http://www.kawashimashin.com/ 一般財団法人 統計研究会 学際 http://www.isr.or.jp/TokeiKen/pdf/gakusai/3_04.pdf RAND: Download Ebook for Free https://www.rand.org/content/dam/rand/pubs/conf_proceedings/CF300/CF379/RAND_CF379.pdf History of European Integration 基盤研究(A) (研究代表者：遠藤乾) http://lex.juris.hokudai.ac.jp/history_of_european_integration/</p>
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	川島 真 (KAWASHIMA SHIN) (90301861)	東京大学・大学院総合文化研究科・教授 (12601)	
研究分担者	大庭 三枝 (OBA MIE) (70313210)	東京理科大学・工学部教養・教授 (32660)	
研究分担者	岩谷 將 (IWATANI NOBU) (80779562)	北海道大学・法学研究科・教授 (10101)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	細谷 雄一 (HOSOYA YUICHI) (90322784)	慶應義塾大学・法学部（三田）・教授 (32612)	
研究分担者	川嶋 周一 (KAWASHIMA SHUICHI) (00409492)	明治大学・政治経済学部・専任教授 (32682)	
研究分担者	妹尾 哲志 (SENOO TETSUSHI) (50580776)	専修大学・法学部・教授 (32634)	
研究分担者	板橋 拓己 (ITABASHI TAKUMI) (80507153)	成蹊大学・法学部・教授 (32629)	
研究分担者	鈴木 一人 (SUZUKI KAZUTO) (60334025)	東京大学・大学院公共政策学連携研究部・教育部・教授 (12601)	
研究分担者	林 成蔚 (LIN CHENWEI) (20322787)	常葉大学・法学部・教授 (33801)	
研究分担者	池 ヒョン周・直美 (CHI NAOMI) (30443914)	北海道大学・大学院公共政策学連携研究部・講師 (10101)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計3件

国際研究集会 The Workshop “Europe and East Asia under the Shadow of Authoritarian Powers”	開催年 2018年～2018年
--	--------------------

国際研究集会 6th Hokkaido Dialogue: East Asian Civil Society Dialogue: Underclass in East Asia	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 5th Hokkaido Dialogue: The Age of Precarity and Living in East Asia in the 21st Century	開催年 2017年～2017年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------